

平成24年度事務事業評価シート（23年度実施事業分）

事業番号	04 09 13	中期総合計画主要施策番号	3-05	担当課	部・課	健康福祉部 障害者支援課
事業名	西駒郷運営事業			内線	2384	
				E-mail	shogai-shien@pref.nagano.lg.jp	
実施期間	S43 ~	根拠法令等	長野県西駒郷条例、西駒郷基本構想			
実施方法	(社福)長野県社会福祉事業団を指定管理者に指定して実施					国庫・県単 国庫補助事業・県単独事業

  

事業の概要等	目的(必要性)	・障害者自立支援法に基づく障害者支援施設として、知的障害者が豊かで自立した日常又は社会生活を営めるよう必要な支援を行うことにより、障害者福祉の向上に努める。				
	対象	・知的障害者				
	目指すべき姿	・地域での生活を希望する入所利用者に対して、自立のために必要な支援を行い、地域生活への移行を推進する。 ・利用者個々のニーズに応じた個別支援を充実することにより、利用者自らが希望する生活を営むことができるよう目指す。				
	事業内容	・西駒郷の管理運営 ・施設入所支援 ・短期入所 ・日中活動支援 （生活介護、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援A型・B型）				

（負担率：【国】1/2【県】1/4【市町村】1/4）

  

事業コスト	区分	単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳 ・指定管理委託料:264,822千円 （指定管理者:(社福)長野県社会福祉事業団) ・委託料(環境美化):2,709千円 ・スプリンクラー設置工事監理委託料:1,890千円 ・スプリンクラー設置工事請負費:42,567千円 ・賃金(環境整備職員):3,292千円
	最終予算額 (A)	千円	300,012	319,145	302,289	
	決算額 (B)	千円	289,498	316,989		
	B(H24はA)のうち一般財源	千円	260,931	266,705	302,014	
	概算人件費	人	1.50	0.50	0.50	
	概算事業費 (B(H24はA)+C)	千円	301,974	321,118	306,418	

  

事業実績	成果指標・活動指標内容	単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績 ・H23年度から豆腐製造等を行う就労継続支援A型事業(利用者と雇用契約を締結して最低賃金を保障)を開始し、利用者11人に対して月額73,000円以上の平均工賃を実現した。 ・スプリンクラー設置工事を行い、利用者の安全確保を図った。 効率指標 算出式) 概算事業費/(入所利用者数+日中活動サービス利用者数)
	入所利用者数(年度当初)(活)	人	166	147	141	
	日中活動サービス利用者数(年度当初)(活)	人	230	223	219	
	地域生活移行者数(成)	人	10	9	20	
	<効率指標(単位当たりコスト等)>施設入所・日中活動利用者数	千円/人	763	868	851	

  

事業の成果	事業の目標(H23)	事業成果・評価		評価区分  b  期待どおり
	・H24年度の目標達成に向け、地域生活を希望する入所利用者に対して自立のために必要な支援を行い、地域生活への移行を着実に推進する。  西駒郷基本構想における地域生活移行の見通し 〔15～24年度の間に310人程度の地域生活移行を目指す。〕	・H23年度の地域生活移行者数は9人で累計が267人となり、H15～24年度の見通しである310人に対して、概ね期待どおりの成果が得られている。		

  

事業の課題	区分	判定・説明				
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明 ・地域生活移行の推進により入所利用者数は逡減しているが、日中活動サービスの需要は引き続き高いとともに、全県的なセーフティネット機能を担うことも期待されており、事業ニーズは横ばいである。 ・入所利用者の減少等の動向によっては、既存施設(寮)の利用形態等を検討する必要があるが生じるが、当面改善の余地はない。	
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		

  

総合分析等	総合分析(今後の課題、取組方針等)	・地域生活への移行を希望する入所利用者には障害程度の重い者が多いことや、受け皿となるグループホーム・ケアホームの数が不足していること等から、移行が困難なケースが増えてきている。 ・今後、地域生活移行により入所利用者数が減った場合は、サービスの質を低下させないことを前提に、効率的な施設運営を検討する必要がある。
	特記事項	